

# 能を知る会 鎌倉公演

字幕・能・やつてます！

わかりやすい字幕解説付き！

朝の部 午前十時始

昼の部 午後二時始

解説  
能の子方

狂言  
蟹山伏

能  
船辨慶

狂言  
附子

解説  
能の神と鬼Ⅱ

狂言  
第六天

能  
第六天

狂言  
中森 貫太

中森 貫太

強力 飯田 豪  
蟹の精 月崎 晴夫

大鼓 亀井 広忠 大鼓 澤田 晃良  
小鼓 田邊 恭資 笛 平野 史夏

判官ノ從者 渡部 葵  
船頭 内藤 連

後見 遠藤 喜久  
奥川 恒治

地謡 平野 真樹  
佐久間 二郎 鈴木 啓吾  
永島 充 桑田 貴志

中森 貫太

主 福田 成生  
次郎冠者 岡 聡史

大鼓 亀井 広忠 大鼓 澤田 晃良  
小鼓 田邊 恭資 笛 平野 史夏

從前 渡部 葵  
末社ノ神 中村 修一

後見 鈴木 啓吾  
奥川 恒治

地謡 柴田 孝宏  
永島 充 中森 貫太  
遠藤 喜久 佐久間 二郎

「船辨慶」あらすじ

平家全滅の立役者源義経は、梶原景時の讒言により、兄頼朝に疎まれ、自ら都を去って西国に落ちようとする。人物通で愛妾静と惜しき別れを告げる。「中人」

船出した一行は、俄の大荒れの中、平家門の亡霊が現れ、中でも平知盛の怨霊が襲いかかるが、弁慶の必死の祈禱に辛くも虎口を逃れる。

みどころ

義経役の子方の可愛らしさに、前場の静の哀切な舞と、間狂言の船頭の、大車輪の活躍、後場の憂快な戦いと、盛り沢山の見せ場があります。

シテは、二場形式で、静と知盛という全く異なる人物を演じ分けます。「作り物」の船にもご期待ください。

学生さん、初心者むけのわかりやすい能です。

「第六天」あらすじ

「太平記」を上演とする五番目鬼畜物。

解説上人が伊勢参宮を志し渡会宮に着いたところ、二人の女に行き会ふ。女は御裳濯川の謂われや渡会宮の由来を語り、僧に仏法の障礙が起るであろうと神の告げを言い残して姿を消す。

上人が神前で心を澄ませていると、点俄にかき曇り、第六天の魔王が多くの人を魅惑して合掌すると空から素戔鳴尊が出現され、宝棒で魔王達を打ち懲らしめ魔王に一度この地に現れぬと約束させる。そして天に帰り、魔王も退散して消え失せる。

みどころ

滅多に出ない希曲です。

前シテが伊勢神宮の使いの女性で、後シテが魔王という全く違うキャラクターなので、誦いわけ、演じわけが難しいですね。

前シテは神の使いらしく清々しく颯爽とやりたいです。後シテはスケールの大きい中にもユーモラスな気の小さい魔王を表現できればと思っています。

会場 鎌倉能舞台

日時 2025年7月24日 木 朝の部 午前十時始 昼の部 午後二時始

入場料 入場料 各6,500円【団体 6,000円】 座席指定料 1,000円 ※座席の指定ができます。お電話にてお問い合わせください。

●記載の演目・演者等はやむを得ない都合により変更になる場合がございます。●許可のない録音・撮影は一切禁止です。●携帯電話は電源からお切りください。●演能やほかのお客さまの迷惑となる行為はご遠慮願います。

【チケット取扱】TEL・FAX・HP内のフォーム・Eメール・お葉書などで承ります。  
〈鎌倉能舞台〉TEL・FAX.0467-22-5557 (e+ イープラス) <http://eplus.jp>

主催：鎌倉能舞台 後援：神奈川県、鎌倉市

〒248-0016 神奈川県鎌倉市長谷3-5-13  
TEL・FAX.0467-22-5557  
URL: <http://www.nohbutai.com>  
E-mail: [webmaster@nohbutai.com](mailto:webmaster@nohbutai.com)



【交通】JR 鎌倉駅よりバスにて15分「長谷観音前」または江ノ電「長谷」駅下車徒歩7分

鎌倉能舞台 座席表

